

北村すすむ 議会だより

学校教育においても

2010年10月19日
創刊号
発行 北村進後援会
Tel 090-7332-8301
HP : 岩手三陸の釣り
<http://www.rnac.ne.jp/~cda8z2yk/>



9月議会
一般質問

北村
進議員

読書まち宮古・第1次産業の担い手
の育成・見直し、
市庁舎の改修と
市役所の移転

北村進議員は、9月29日の一般質問に登壇し、「教育立市」における読書まち宮古、「産業立市」における第1次産業の担い手育成の2点を質しました。

「教育立市」における読書まち宮古について

生涯学習・学校教育・幼児教育の3つの観点から、取り組みと現状についてお伺いします。

【質問】今年3月の定例議会の経営方針で、山本市長は「読書は人生を豊かにするものであるとともに、子どもにとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする人づくりの基礎となるものである。」と述べています。さらに読書は、学力の基礎となるものであり、市内の小中学校でも、ほとんどの学校で「朝読書」をとりいれるなど、

ています。「読書まち宮古」をキャッチフレーズに掲げる宮古市にあって、具体的にどのような方向性、施策をもってその姿を目指すのか伺います。その1点目として、生涯学習の観点から市民の読書の現状についてお伺いします。市立図書館で行っている、市民が読書に親しむための工夫とその課題についてお伺いします。2つ目は、学校教育における読書についてです。文部科学省は学校図書館の充実を図るため、平成5年に「学校図書館図書標準」を設定し、これまで二度にわたる「5カ年計画」を策定し、財源措置を行ってきました。しかしながら達成の割合は、平成18年全国平均で小学校41.0%、中学校34.0%にとどまっています。「新5カ年計画」は、「増加冊数分」の図書費に加えて、廃棄図書を更新するための「更新冊数分」の図書費を新たに盛り込まれています。そこで、宮古市内の図

書の予算措置と図書整備状況について、あらためて伺います。

次に、今回市内の学校読書ボランティアの活動状況について、何らかの活動の様子を調べさせてもらいました。定期的な子どもたちへの「読み聞かせ」活動を行っています。子どもたちは瞳を輝かせ熱心に聞いていました。今では活動も読み聞かせにとどまらず、図書室のレイアウトや図書室の季節毎の掲示や新刊図書の紹介、おたよりの発行、本の修繕など学校図書館司書のような役割を果たしていると感じられました。市内のボランティアの組織状況と活動状況について、お伺いします。

最後は質問というより提言です。東京都立川市教育委員会は2008年度から市内20校の学校図書館に司書の資格を持つ「学校図書館指導員」を毎週2日、1日5時間派遣し、児童の図書離れ対策に乗り出しています。司書の配置で利用が倍増した学校もあり「子どもたちが本に興味を持つような環境づくりができた」と自信を深めています。

宮古市の各学校でも司書教諭・図書担当がいます。しかし、教職員の多忙・・・登校時から授業終了後まで45分の休憩時間すらとれない状況にあり、放課後も

部活動や各種報告書の作成など息が抜けない状況にあります。図書担当者は、担任との兼務などで多忙なため、図

書館運営だけに専従することができません。古くなった図書の整理すらできない状況にあります。

宮古市でも図書館司書・学校図書館指導員を採用することができないかどうか伺います。そのことよって、司書が学校と市立図書館のコーディネーターの役割を果たし、市立図書館をセンターとして、小中学校とネットワークを結び、蔵書をデータ化し、必要な本が自校になくても、他校や市立図書館から取り寄せる図書館流通システムを構築する。ウェブサイトで依頼すると、週1回の巡回トラックで本が届くといったような、様々な事業を展開することができるのではないのでしょうか？

乳幼児の心と言葉をはぐくみ、親子のコミュニケーション能力の向上を図るために始められた「ブックスタート」事業について現在の効果についてどう考えるか伺います。



【答 弁】盛合教育部長
市独自の非常勤司書職員の配置は、読書環境整備のための先進事例の研究等、宮古市になじむ方策を検討する

市立図書館では、市民が読書に親しむために、祝日の開館や開館時間の延長。コンピュータシステム導入により予約貸出や図書照会の利用増加。郷土作家の紹介・おはなし会等の催しを開き読書を推進している。



宮古秋まつり 手おどり参加

学校図書整備状況は、図書標準冊数を満たす学校が、平成21年度は、小学校6校から11校、中学校3校から5校と増加したが、全部の学校が充足するように計画的に整備を進める。学校図書ボランティアは、図書の整理や読み聞かせの活動により図書館環境が向上し、情操教育の一助となっている。

市独自の非常勤司書職員の配置は、読書環境整備のための先進事例の研究等、宮古市になじむ方策を検討する。

【再 質問】

(1) 市民の読書の現状

①市立図書館で司書の資格を持つ職員の数は何人いるのか、また、今の職員体制で、学校の図書館に派遣することができる状況にあるか伺います。

〔答弁〕市立図書館に、図書館司書、有資格者は一人。派遣は難しい。

②宮古市の子どもの読書活動推進計画の策定状況はどのようになっているのかお聞きしたい。

〔答弁〕現在策定中。
(2) 学校教育における読書について
①昨年度、「子ども読書活動支援事業」により、例年より多くの新しい本を手にした子どもたちは、喜んで先を争って本を借りていたという現場の声があります。

しかし、寄付を期待して蔵書の充実を図れるものではありません。図書予算の配分の算定基準は？

〔答弁〕学級数と児童数に応じた予算配分となっている。

②学校図書館の「学校図書館図書標準」充足率を伺います。高い学校は何パーセントで低い学校はいくらか？

〔答弁〕高い充足率で200%、低い充足率で20%。25年度を目標に全学校が充足できるように努力します。

(3) ブックスタート事業の効果についてどう捉えているか

〔答弁〕将来、子どもが自分で読んで、楽しむ読書へとつながっていくものと考えている。

さらに、一般質問のあとに行われた決算特別委員会の総括質疑の質問に

山本市長 「学校図書館の充実のために、先進地区の学実践例を参考に、学校図書配置を検討したい。」と答えた。

【質問】6次産業が躍動する活力に満ちた産業都市づくりを目指すためにも、基盤となる第1次産業の担い手の育成が重要と考えますが、市としての具体的施策と状況について伺います。

特に、世界の三大漁場といわれている「三陸の豊かな水産資源」小学校5年社会科の教科書にも取り上げられている「つくり育てる漁業」の代表例として、

重茂漁協の養殖ワカメ・コンブがありま

す。
また、重茂漁協の「重茂のわかめ」と並び田老町漁協の「真崎わかめ」は、生産から加工、販売と、宮古地方の第6次産業の代表例と言えるものです。また、千鶏貝塚や崎山貝塚に見られるように縄文時代から海や山を生活の場としてきた宮古地方にとって、一次産業の振興は重要なものと考えます。

しかしながら、東北農政局の資料によりますと3つの漁協の組合員数は、平成9年と19年過去10年間で、3,698人から2,797人と1000人弱減少しています。そのような中で、わかめやこんぶの養殖漁業経営体数は、比較的安定した数の推移となっております。しかし、就業者の高齢化がすすみ、新規就業者がなかなか出てこない状況にあつて、宮古市は「漁業担い手育成補助金制度」新規就業者支援資金事業を創設しました。

1点目は、その事業の対象者A：新規就業者希望者の年齢制限、満50歳未満、B：後継者満30歳とありますが、新規就業者が少ないことから創設されたことを鑑みると、同様な事業、農業・林業の概ね50歳と同様に幅を持たせることができな

いかどうかお伺いします。
さらには、着業から収穫までの間に収入がないことがあると予想されることから、対象者の認定にあたっては、人にやさしい施策として柔軟な対応ができないものか伺います。

答弁 山本市長

新規就業者一人あたり、支援金として月額10万円を最長2年間助成



宮古市では、漁業担い手育成対策として、平成22年度から「つくり育てる漁業」の中核である養殖漁業経営の中心とする漁業を目指す、新規就業者を受け入れる漁業協同組合に対して支援を行っております。この支援事業の内容は、新規就業者一人あたり、支援金として月額10万円を最長2年間助成するというものであります。対象者は、新規に養殖漁業に就業を希望する場合は、市内在住の50歳未満の方、養殖漁家の経営を承継しようとする者の場合は、30歳未満の方が対象となります。今年度は、8月末現在で、重茂漁業協同組合2人、田老町漁業協同組合3人が認定を受け、将来の養殖漁業経営に向け、技術習得に取り組んでいるところであり、この支援事業は、今年度から始まった事業であります。今後は、漁業担い手の確保・育成について、漁業協同組合と連携を図りながら、漁業者等へ支援事業の内容の周

知・PRを行い、より実効性のある支援
が行われるよう取り組んでまいります。